埼玉県退職校長会会報

題字・清水章夫
第161号
平成29年8月

平成二十九年度定期総会

鴻巣市・鴻巣市文化センター（クレアこうのす）にて

平成二十九年六月九日（金）

会長挨拶（要旨）

会長　清水章夫

埼玉県退職校長会は、現在、会員数3700余名を擁し、10支部・57班で構成されております。昨年度は、東日本大震災・原発事故から6年、4月、熊本大地震、8月、台風10号による岩手県等での河川氾濫、10月、鳥取中部地震などの自然災害からの復興への祈りと共に内外の諸情勢は、歴史の節目を迎えたように多事・多難な年でした。

本年度は203名という多数の新入会員の皆様をお迎えし、本会の活力ある躍進の原動力と期待しておるところです。

ところで、現在、国においては、グローバル化や情報化の進展する不透明な時代を、たくましく、しなやかに生きていく人材育成に向けた「教育再生実行会議」の9次にわたる提言を受けた諸改革が迅速に進められております。6月1日には「学校・家庭・地域の役割分担と教育力向上」を目指し、「教師の日」導入などを盛り込んだ第10次の提言が提出され、これらの実現を目指して新小中学校学習指導要領が、去る3月末に告示されました。

一方、少子高齢化の急速な進行等に対処し「我が国の社会保障制度」の在り方が「高齢者世代重視から全世代対象」への転換が叫ばれ、そのために、年金・医療・介護など、高齢者も〝痛み〟を伴う改革が不可避とされるなど、力を合わせて取り組まねばならない課題山積の現状です。

これらの状況を踏まえ、本会が平成29年度に取り組む活動のうち、三つの要点について申し上げます。

その一は

学校支援・教育要望活動の一層の充実・進展です

現在、各支部・各班においては、創意に富んだ様々な教育支援活動が展開されております。中でも、本会が40余年推進してまいり、全国的にも高く評価されておると自負しております「現職・退職校長支部別教育推進協議会」の一層の充実を、各支部のお骨折りで図ってまいりたいと存じます。

その二は

会員の福利・厚生活動の活性化の着実な推進です

長寿会員の方々への財政上の配慮として、88歳以上の会員の県会費を免除いたし、5年目となります。

また、新会員各位の再任用・再雇用については、年金支給の先送りに対処し、管理職再任用制度の拡充等、校長職のキャリアを生かす活動の場の確保などの要望活動に一層努めてまいる所存でございます。

その三は

情報の共有化による会員相互の〝絆〟の強化です

会報（年3回発行）、ニュースレター（年2回発行）に加え、昨年4月に、広報部が中心となり、ホームページを開設いたしました。急速に変貌する社会情勢の中、全会員が情報の共有を通して、心の絆をより強め・広げ、連携と親睦を深めることを〝ねらい〟としております。

今後更なる充実・活用を図り、総意を結集した活動の展開に役立て、本会発展の基盤の役割を果たすよう願っております。

結びに臨み、ご来賓の皆様に重ねて御礼を申し上げますとともに、総会開催に当たり、多大なご支援ご尽力を賜りました「鴻巣市」ご当局、並びに「北足立北部支部退職校長会」の会員各位に、心からの御礼を申し上げ、ご参会の皆様のご健勝でのご活躍を祈念いたし、挨拶といたします。

①～⑦　総会報告
⑧　慶祝・叙勲
　　美術展出品者
⑨　総会・講演会
⑩　平成28年度
　　彩の国教育の日
⑪　役員名簿
⑫　全連退報告
⑬～⑰一人一言
⑱～⑲新会員の声
⑳　文芸　編集後記